

社会資本整備審議会建築分科会 第15回官公庁施設部会 議事概要

1. 平成25年8月19日(月) 15:45~16:45

2. 場 所
経済産業省別館 1107会議室

3. 出席者
久保哲夫部会長、大森文彦臨時委員、櫻井敬子委員、鈴木博之専門委員、古阪秀三臨時委員、前真之専門委員、野城智也臨時委員

4. 議 題
(1)官庁営繕事業の新規事業採択時評価について
(2)最近の官庁営繕行政における主要施策について(報告)
(3)前回答申を踏まえた津波対策等の進捗について(報告)

5. 議事概要
(1) 官庁営繕事業の新規事業採択時評価について、事業評価小委員会からの報告を受け、事務局から説明の上、調査審議を行った。
(2) 委員から、事業評価の結果、妥当とされた事業は、すべて予算要求を行うのかとの質問があり、事務局から、予算要求に当たっては限られた予算の中で優先順位をつけて判断していくことになるとの説明があった。
(3) 審議の結果、議題の3事業(湘南海上保安署、奈良地方气象台、串本海上保安署)について、「新規事業化は、妥当である。」との意見を取りまとめた。
(4) 最近の官庁営繕行政における主要施策(官庁施設の地震対策、官庁施設の長寿命化及び公共建築物における木材利用の促進)について、事務局から報告がなされた。
(5) 前回答申を踏まえた津波対策等の進捗について、事務局から報告がなされた。
(6) 報告事項に対して委員からは、
・ 木材利用の促進を図るためには、木材の調達方法についても工夫していく必要がある、
・ 木材利用に当たっては、地方公共団体においても林政部局と建築部局の緊密な連携が必要である、
・ 長寿命化のためには、最初から設計基準、材料選択、工法選択を構築することも重要だ、
との意見が出された。

[文責は事務局]

